

七月五日七時頃であったであろうか電話がかかってきて、「会長さん今日パソコン教室ありますよ。特別大雨警報が出てますよ」「そうだが、たいして雨は降ってないよ」

「私は休みたい。」「休むのは自由ですよ。」「私講師が当たっているんですが。」「そりゃ困るよ。この雨なら、来られる人もあるかもしれない。」「電話を切るとほかの人からの電話が鳴った。」「三隅の方は避難勧告が出たそうですよ。」「その人は避難するから、休んでも仕方がないですよね。」「

スマホで浜田市の防災メールを見ると刻々と情報が入ってきている。こんな時は防災メールを登録していてよかったとつくづく思った。(市のホームページから登録)



「特別大雨警報」発令騒動

会長 長尾 康一

# ICT サロンだより

第54号 発行  
シニアネットはまだ  
代表：長尾康一  
Tel：090-4570-5953  
平成29年9月

心配しながらいわみーるに行ってみると普段より少なかったが、パソコン教室は通常に開設できた。後で三隅の人に聞いてみたら、川に見に行ったが、たいしたことにはなさそうなので避難しなかったとのことだった。だが、次ページに寄稿された方々は大騒動されたようである。

浜田市に警報が発令されたと言っても中国山地に近いところの局的ゲリラ豪雨であったようだ。

しかし、このようなことを繰り返している、インソップ物語の「オカミ少年」のようになりはしないかと危惧した。

今後に備えて、役員を通して運営委員の皆さんにはお知らせできるように連絡網を作った。ホームページでも掲載することにした。

## 【防災危機】避難勧告情報(2017年07月05日 01時35分)

こちらは防災浜田市です。  
大雨の影響により金城町波佐地区、弥栄町全域、三隅町全域にかけ崩れや土石流、地すべり等の土砂災害が起こる危険性が高まったため、7月5日1時00分金城町波佐地区、弥栄町全域、三隅町全域に避難勧告を発令しました。該当地区の住民の方は避難をしてください。  
金城町波佐では、次の避難所を開設しています。

- 波佐公民館
- 弥栄町では、次の避難所を開設しています。
- 弥栄会館、いこいの家
- 三隅町では、次の避難場所を開設しています。

市役所三隅支所、三隅公民館、三保公民館、岡見公民館、井野公民館、黒沢公民館、白砂公民館  
引き続き、今後の気象情報及び避難情報に充分ご注意ください。



近辺をチェックしよう!  
【マップ on しまね】検索  
防災  
土砂災害警戒区域/土砂災害特別開  
会区域をクリック



表彰式



グラウンドゴルフ大会  
ひだまりパーク みと



グラウンドゴルフ大会 優勝  
河村 文雄

まさか呼ばれることもないだろうと後ろのほうでのんびりしていた私を何度も呼んで下さる声が聞こえます。

まあまあ、パソコン教室では劣等生の私がまさか皆さんの前に出させていただくことがあるなんて、照れくさいやらもったいないやら、貴重な機会をありがとうございます。

そしてまた、ポチ・ポチ・ポチ・教室のすみっこで小さくなってパソコンと格闘している私です。今後ともよろしくお願いいたします。

八月三十日(水)軽スポーツの集いが、行われました。参加者五十名、はじめにラジオ体操で体をほぐし、赤組、白組の二チームに別れて七種目をワイワイと楽しくプレーしました。私は、初めての参加で赤組でした。



軽スポーツの集いに参加して  
横田 道子



白組優勝



メデシングボール



始めのうちは、勝っていたのですが、終わってみると二点差で敗けてしまいました。

全種目に出たのですがそのなかでもメデシングボールは久しぶりで少し戸惑いましたが、昔を思い出して楽しい半日を過ごすことができました。

役員の皆さまには、準備、進行にいろいろお世話になり、ありがとうございました。

避難して

三隅在住 久保 祥子



激しい雨音とすぐ近くにある川の音で目が覚めた。主人に朝ごはんを食べてから避難しようと相談していたところ、隣家から避難の準備をしたほうがいいよと電話をもらった。

先日、防災訓練があったばかり、非常持ち出し品を用意、五十八年の水害のようにならなかなかな帰宅できない。おにぎり、缶詰、佃煮、お茶など。二・三日分の着替えなども用意して車で中央公園に行くことにした。前回、山崩れした所があるので迂回して無事到着。その旨をお隣さんに報告する。駐車場は半分くらい空いていたが、みるみるうちに一杯になった。酷くならないことを祈りながら、子供たちに避難していることをメールで報告。次から次と安否確認のメール・電話を受けた。ひたすら雨が止むのを待つ。お風呂に避難解除された。

当地区では甚大な被害もなくよかったですが、災害は忘れたこと

ろにやってくると言います。深夜の豪雨は一瞬で災害につながり、五十八年の時もそうでした。前兆はありません。



避難

波佐在住 石田 好子



写真提供 石田さん



七月四日、朝から小雨が降りとても蒸し暑く体がだるくなるような天気だった。

午後からは、とても良い天気になりそろそろ梅雨明けかな？と喜んでた。その喜びもつかの間、夕方からは雨になり、どんどん降り方もひどくなり、止むこともなく降り続いた。が、まだ水害になると予測はしていなかった。夜、十一時頃のニュースで地区に洪水警報が出ていることを知り初めて大変なことになっていると

気づいた。

外は真っ暗でどんな状況になっているか見えない。不安ばかりが募り近くの川の水位はどれくらいまで増えているのか。近所の方はどうしているだろうか。と思いつつ、懐中電灯を外を照らして見ると、無線放送で避難所の開設のお知らせがあった。でも真っ暗で何も見えないのに外に出てもよいのか不安だった。家のすぐ横の道路の石垣が崩れるのと同時に、市役所職員から避難するよう指示された。とりあえず貴重品と少しの着替えをリュックサックに入れて公民館へ避難した。

昭和五十八年の災害の時のことが思い出され避難所に行っても朝まで眠ることなく過ごした。早朝から炊き出しをしてくださり、おむすび、温かいお茶をいただいた。地区の小学生が皆に、いろいろとお世話をしていた。とてもありがたかった。また、一週間後のシニアネットパソコンの皆さんから、心配していたよ、どう？大丈夫だった？と温かい言葉をかけてもらい、大変だったけどともうれしかったです。皆さん有難うございました。

市長講演を聴いて

栗原 宏治

〜浜田の歴史と現在、未来〜



二年後に浜田開府四〇〇年を迎えるにあたり、会員六十八名の参加を得て浜田市長の講演が行われた。

いま「ふるさと郷育」の推進を図ることが重要である。未来を託する若い人々に浜田の歴史・文化遺産(資料)を後生に伝承するために保存展示をすることが大切である。

浜田の歴史を振り返ると転機となった四つの節目がある。

① 一九一九年伊勢松坂藩主古田重治公が浜田に転封。重治公と共に家臣、町民、職人約三、四千人が連れてこられた。それらが「浜田八町三千軒」と言われる城下町を作った。一九四八年の改易後も有力商人は浜田に残った。現に町名、姓名が継承されている。

② 明治時代は県西部の政治経済、文化の中心として栄えた。浜田県を設置、浜田県庁、浜田中学校、浜田師範学校、島根県浜田高等女学校の設置。浜田港を買易港に指定など。

③ 明治の後半から昭和の戦前までは軍都として栄えた。広島にあった歩兵二十一連隊を浜田へ移駐。浜田衛戍(えいじゆ)病院が置かれた(現浜田医療センター)。

④ 昭和に入って漁港が整備され水産業引き船団が発展する。合わせて水産加工業(缶詰製造干物加工)への味付けした。

現在の浜田を支えている産業、事業では、県立大学、三隅火力発電所、島根あさひ社会復帰促進センター、浜田医療センターと地域産業などである。

将来期待される新たな産業、事業としては、三隅火力発電所二号機建設誘致。大型農業事業者の進出として、松永牧場と大規模トマト農家の誘致があげられる。高度衛生管理荷捌所を整備し外来船誘致、瀬戸ヶ島埋立地で畜養を中心とした水産加工工業化である。

夢としては、島根沖「ガス田」基地の可能性、整備が進む「浜田港」をアジア、ロシア貿易の拠点化である。今後「浜田圏域」の発展を図る方策として、最先端技術を応用した大型施設・産業の導(移)入を推進することである」と述べられたのが印象に残りました。

久保田章市市長講演会



新入会員のお知らせ

山崎 佳子  
久保田 政男  
豊島 武  
中 政信

(6~9月) (敬称略)

☆デジカメツアーのお知らせ

日時: 10月29日(日)  
行先: 錦川清流線の旅  
参加費: 6,800円

トコトトレイン(トロッコ遊覧車)に乗って自然を満喫し「きらら夢トンネル」の幻想的な世界を楽しみましょう。皆さんの参加をお待ちしています。活動部